

“

“神社と日本文化の関わり合い”

～いつも身近にあって、誰もが訪れ、
自然に手を合わせる不思議な空間～

”

“どうして日本には神社があるの”を紐解く

参考図書：神の国日本の「美しい神社」

著者：森井啓二

宮 崎 修 五（AYSA西部部会会員）

目次

2

- I. **神社の真の目的**→宗教的な話題になるので省略
「神との合一」：神様の天意と人の愛を完全に合一させる
- II. **知らぜらる神社の心得**→宗教的な話題になるので省略
「神社と人の身体の照応」：身体は神体
- III. **神社参拝への道**
内的探求と照応した参拝
- IV. **神社参拝の秘訣**
人の力と神々の恩頼が融合する世界

Ⅲ. 神社参拝への道

1. 神社（約8万8千社）の呼び名の種類（**フォーマットが一番高いのは？**）

● 祀られている神によって呼び名が異なる

- 1) 「・・・八幡宮」通称：八幡さま 日本一多い 約4万4千社
 宇佐八幡宮（大分：八幡宮の総本山） 石清水（京都）鶴岡（鎌倉）
 筥崎（福岡）琴崎（宇部）南方（西岐波）北方（阿知須）・・・
- 2) 「・・・天満宮」通称：天神さま 日本に約1万2千社
 北野（京都）大宰府（福岡）防府（日本最初の天満宮）・・・
- 3) 「・・・大社」出雲（島根）春日（奈良・・・）諏訪（長野）宗像（福岡）
- 4) 「・・・神宮」伊勢（三重）石上（奈良）明治（東京）赤間（下関）・・・
- 5) 「・・・東照宮」日光（栃木）・・・
- 6) 「・・・稻荷（稻成）」豊川（愛知）伏見（総本社京都）元乃隅（長門）・・・

Ⅲ. 神社参拝への道→「真面目に」より「わくわく楽しく」を優先

2－（１）神聖な場所への門：鳥居

役割

- 1) 神聖な場所であるご神域と俗界を分ける結界の象徴
- 2) 二本の柱 陰と陽 男性と女性・・・・・・・・
上方の架け橋で繋いで均衡 ➡ 二本足で立つ人の形
- 3) くぐる前にまず一礼 ➡ 神社と神様への敬愛の行為
- 4) 「地」のエネルギーを意識する ➡ 「地の祓い」
- 5) 身体を出入りする9つの門（目、耳、鼻孔、口、尿道、肛門） ➡ 「清らかな人だけ」 ➡ 御神氣を受けながら

出雲大社（第3の鳥居）



Ⅲ. 神社参道への道

2- (2) 鳥居

出雲大社（第4の鳥居）



厳島神社（海に浮かぶ大鳥居）



Ⅲ. 神社参拝への道

2 - (3) 鳥居

左：琴崎八幡宮第2の鳥居と参道

右：南方八幡宮第1の鳥居



Ⅲ. 神社参拝への道

2 - (4) 鳥居

左：元乃隅稻荷神社

右：南方八幡宮（第2の鳥居）



Ⅲ. 神社参拝への道

3. 光の道：参道

- 1) 参道で意識する五大元素は「火」⇒「火の祓」
- 2) 心の静寂を深めていく道⇒神気を体内に取り込む
- 3) 玉砂利 4) 音浴 5) 禊
- 6) 参道の中央（神智）⇒参道の中心を避けて歩く
⇒皆さんはいつも 右、中央、左 気にしない？
- 7) 参道⇒産道（新しく生まれ変わる）
- 8) 気を感じる
⇒自分本来の感覚を目覚めさせ、研ぎ澄ます



出雲大社 参道

Ⅲ. 神社参拝への道

3. 参段 (昇段：左側？ 降段：右側？)

左：赤間神宮

右：防府天満宮



Ⅲ. 神社参拝への道

4 - (1). 禊（みそぎ）の場：手水舎（てみずや） 五大元素は「水」
左・・・琴崎八幡宮 右・・・南方八幡宮



Ⅲ. 神社参拝への道

4 - (2) 手水舎

- 1) 本来は参拝前に清流や海などで禊
- 2) 心身を清らかにする「水」
- 3) まず、呼吸を調え、心を鎮める
- 4) 清らかな水を取り、手と口を清める
→皆さんは普段されている手順は？
- 5) 生命体として存在する龍（水の出口）
- 6) 日本の「蛇口」という表現も同じ意味
- 7) 「古事記」伊弉諾尊（伊弉諾尊）
黄泉(ヨミ)の国から帰還 海水で禊祓

1) 参道の本殿に向かって右側、左側？

Ⅲ. 神社参拝への道

5. 神門：わずかに残る煩惱を払う（風） 防府天満宮(重層楼門)

※“身は筑紫に果つるとも魂魄（コハク）は必ずこの地に来たらん”



Ⅲ. 神社参拝への道

6- (1) 狛犬 (琴崎八幡宮) . . . 左右非対称の美意識
(本殿に向かって左側 : 吡形) (右側 : 阿形)



Ⅲ. 神社参拝への道

6 - (2) 狛犬 本殿に向かう関門の門番

右：琴崎八幡宮（狐：稻荷）

1) 伊勢神宮には狛犬（注連縄や鈴）はない

➡神宮の社格と参拝する人の霊格

2) 献身的な祈りと瞑想

3) すべての生き物を敬愛する

4) 有限（当たり前）の枠を外す



Ⅲ. 神社参拝への道

7. 拝殿：神を敬い感謝する（御本殿の手前）

左：琴崎八幡宮

右：南方八幡宮



Ⅲ. 神社参拝への道

7 - (2) 拝殿

右：大宰府天満宮（HPより）

左：宇佐神宮（HPより）



Ⅲ. 神社参拝への道

8. 注連縄（しめなわ）「神氣」の象徴（遺伝子本体のDNA?）

出雲大社（日本一大きい）：真菰

- 1) 神からの授かりもの「お米の稲藁」
- 2) 大和言葉で男は「こ」女は「め」
→雷（神成） 稲妻（イナヅマ）
- 3) 五穀豊穰への感謝 豊作の祈り
しめ（示す）：神 **なわ**：名を和す
- 4) 二元性のすべてが循環する輪
- 5) 輪：真理、行い、生命、輪廻、魂、
血液循環、リンパ液の循環
星の軌道の輪 宇宙循環の輪



明治初期までは「杵築大社」の名称

IV. 神社参拝の秘訣

1. 鈴による音払い お賽銭の深い意味

琴崎八幡宮（鈴と賽銭箱）

● 「鈴」

- 1) 参拝 「社頭参拝」と「正式参拝」
- 2) 鈴緒を振る 人を祓い清める修祓の儀式
- 3) 五十の鈴の音
- 4) 「祓いたまえ、清え給え、神ながら守り給え、幸え給え」

● 「お賽銭箱」

- 1) 伊勢野神宮には「お賽銭箱」はない
- 2) 神社の美しい伝統文化を維持するための金額？見返り？心を込めて



IV. 神社参拝の秘訣

2. 基本的な作法・・・美しい祈り（礼・・・15度、45度、90度）

- 1) 二拝二拍手一拝は新しい作法（昭和23）
- 2) 出雲大社は二拝四拍手一拝（宇佐神宮）
- 3) 二拝⇒二元性への敬意と感謝
- 4) 二拝は縦の動作、二拍手は横の動作
- 5) **拍手の打ち方（偲手）⇒皆さんは？**
- 6) 左手はあるがままに受容する手
- 7) 右手は主張する手

- 1) 祭壇に「鏡」 自分を自覚する
- 2) かがみ⇒「が」を取り除いて「かみ」を自覚

●漢字遊び

「願いを叶える」

- i) 口に出す言葉を、自我（英語でI）を二つに断ち切った言葉にすると「叶」となる
 - ii) 口からポジティブな言葉（+）だけを口にすると「叶」になる
-

IV. 神社参拝の秘訣

3. 玉串（料） 4. 祝詞

榊（自宅）

- 1) 榊・・・ご神木の象徴 「さかいの木」
永くさかえる「さかえの木」
- 2) 玉串奉納の手順
- 3) 祝詞には2種類
 - i) 宣命体・・・神様から人へのお告げ
 - ii) 奏上体・・・人から神様へに伝える感謝や祈り
- 4) 祝詞を美しく音読する



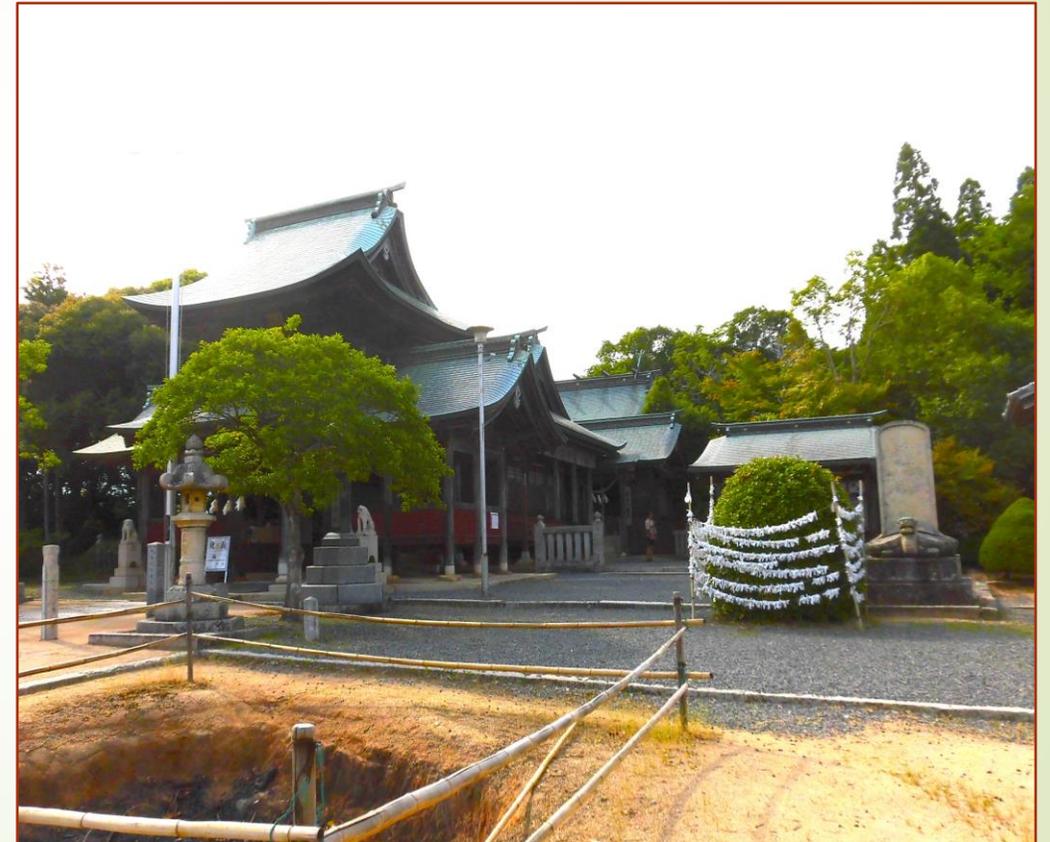
IV. 神社参拝の秘訣

5. 正式参拝 ・ ・ 元旦の厄払いの神事 南方八幡宮



IV. 神社参拝の秘訣

5. 御神木・・鎮守の森のシンボル（知的生命体） 南方八幡宮・・・鎮守の森



V. 神社と祭り → 能動的に楽しむもの

神様へのご奉仕

南方八幡宮（秋祭り）

- 1) 「祭り」・・・「政」「務」も「まつりごと」
→ 広く社会に奉仕することが広い意味での「まつり」
 - 2) 「祭り」には、大きく分けて2種類
 - i) 神社自体が行う祭り 軽重によって
 - 大祭（例祭、祈年祭、新嘗祭・・・喜びと躍動）
 - 中祭（皇室と関りが深い紀元祭等・・・静かな祭り）
 - 小祭、諸祭
 - ii) 氏子の依頼に基づき行われる
 - 祈願祭（人生の儀礼・・・お宮参り 七五三、
合格祈願、家内安全、商売繁盛、安産、
地域の安寧と発展・・・・・・・・）
- ※四季（節句）の行事（もともとはお祭り・・・私達の日常）



2011/10/9

お祭り

南方八幡宮 節分祭



南方八幡宮 餅まき



お祭り 南方八幡宮（厄除け）

左（事始めの厄除け行事）

右（清々しい新年の南方八幡宮）



お祭り

左：南方八幡宮 式年祭
(お神楽)



右：長野県「諏訪大社御柱祭」(HP)



一般的に言われている 「日本三大祭」と「日本三大美祭」

1) 三大祭

- i) 祇園祭（京都 八坂神社
「すさのをのみこと」祇園信仰
神社の総本社）
- ii) 天神祭（大阪 大阪天満宮
「菅原道真参拝」）
- iii) 神田祭（東京 神田明神
正式名称：神田神社（明神さま）

2) 三大美祭

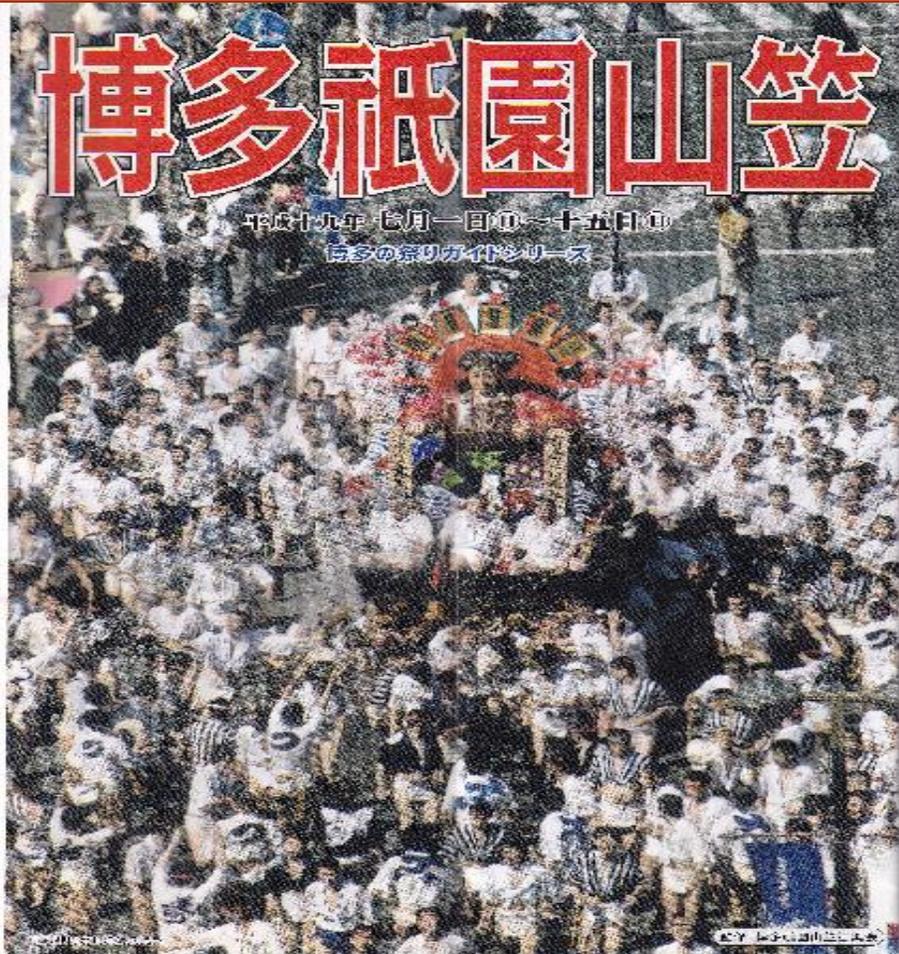
- i) 秋の高山祭（櫻山八幡宮）
「応神天皇」日本書紀
- ii) 祇園祭（京都 八坂神社）
- iii) 秩父夜祭（埼玉 秩父神社）
「四柱の神々」
八意思兼命（ヤヅルノカミノミコト）
➡政治・学問・工業・開運

皆さんの思い出の祭りは 「何祭り」 ? (HPより)



祇園祭（八坂神社と祇園祭）

博多筥崎宮の氏神（櫛田神社）



人と人との絆 礼節の山笠が走る

博多祇園山笠振興会
会長 波多江 五朗

毎年、七月一日博多の街に高さ十米を越す素晴らしい飾りの山笠がその姿を披露致します。今年も博多人形師が丹精こめて作った素晴らしい飾り山笠は櫛田神社の境内を含め、博多の街に十四本立ち並び多くの皆様の眼を楽しませ、また感動を与えることと思います。

それぞれの山小屋の脇には作者である博多人形師の名前と人形の説明書がありますので、お読み頂きますと興味が倍増すると思います。

九日の夕刻には、山笠の昇き手達が筥崎宮の浜まで走り浜砂で身を清め、筥崎宮、氏神様の櫛田神社にお詣りし、期間中の安全と各人の精進を祈願致します。十日からは昇き山笠七本、博多の街を昇き廻ります。十五日の早朝には七本の昇山笠が一番山笠から順に櫛田神社の清道旗を廻り博多の街五キロを約三十分前後で疾走致します。近年、十五日早朝の追山笠には総勢七、八

千人の人々が参加します。今年は日曜日に当たりますので、まだ増えるのではないかと思います。

これだけ多くの人々が参加し、しかもスビーデーでパワフルなお祭りですが、物に当たつて物を壊したり怪我人が出たと云う事は皆無に近いと誇りに思っています。

これは永い間引き継がれて来た物事シキタリを実行出来る人と人との絆であり、礼節であり、ハートであると思います。今年は特に酒気帯び運転禁止に重きをおき、より素晴らしい山笠行事に全員の方で取り組み遂行してまいります。廻りの多くの人々から温かい笑顔で声援、拍子をいただく素晴らしい山笠に一生懸命取り組み組んで参ります。



宮内庁・神宮司庁・神社本庁・櫛田神社 御用達



福岡店

(〒812-0045) 福岡市博多区東公園2-31 (JR吉塚駅前)
☎ 092(651)9456(代) FAX 092(631)0835

本社 / (〒600-8503) 京都市下京区油小路通六条上る ☎ 075(341)3341(代)
東京店 / (〒160-0008) 東京都新宿区三栄町11-6 ☎ 03(3357)4800(代)

- 1) 「神仏習合」(仏教伝来)と「神仏分離令」
- 2) 浅草三社祭り と 浅草寺
- 3) 七五三はお寺でもOK?
- 4) 「西新井太師」はお寺? 「神田明神」は?
- 5) 神道(霊祭・式年祭)と仏教(回忌)の違いは?
法要、法事は仏教用語 神道は●●祭

南方八幡宮 (鐘)



何処？





何処？



何処？



最後に

**神社の「お祭り」の起源等、
その歴史を調べてみると面白い**

ご清聴ありがとうございました